

哲学・思想論集

第46号

令和2年度

筑波大学 哲学・思想専攻

目次

想像的表象と技術的現在	
—— AIを前にした人間存在の揺らぎ——	木村 武史…………… 一
名辞論理とヴェン図	
—— オイラーの場合——	橋本 康二…………… 二三
永遠性を希求する主体とは何か	
—— トランスヒューマニズムと自己超越——	冲永 宜司…………… 四七
ピエトロ・ポンポナツツイ『魂の不死性について』 試訳（第4章まで）	石田 隆太・高石 憲明…………… 九〇
マドヴァ著『議論の定義』和訳……………	須藤 龍真…………… 一一八
『美德なき時代 After Virtue』再読……………	桑原 直己…………… 一三六
日本における新プラトン主義受容の展開	
—— 田辺元を事例として——	土井 裕人…………… 一五二
ハイデガーのシェリング『自由論』解釈に対する批判をめぐって	五十嵐 沙千子…………… 一七二
意志の自由とは何か	
—— カントにおける絶対的自発性と純粹理性による規定——	檜垣 良成…………… 一八六

『哲学・思想論集』投稿・編集規定

1. 本誌は、筑波大学人文社会科学研究所哲学・思想専攻の研究論集として、毎年度一回発行する。
2. 本誌は、先行研究を尊重し、研究倫理にかなった、学術的に優れた論文を掲載する。
3. 本誌に投稿資格を有する者は、本専攻の現構成員、元構成員、非常勤講師、本専攻出身の研究者、および本専攻と交流のある研究機関の研究者等、本誌編集委員会が認めた者とする。
4. 投稿論文は、その内容が他誌に掲載ないし投稿されておらず、剽窃、データの捏造、改ざん、個人情報への不当な扱い等を含んでいないものとする。
5. 本誌は、哲学・思想に関する論文で、(必要に応じて専攻外ないし学外の研究者を含む) 2名以上の査読者による査読をへて編集委員会において採用が決定されたものを掲載する。
6. 編集委員会は、哲学・思想専攻長、編集委員3名(うち1名を編集委員長とする)によって構成する。
7. 査読者は編集委員会が指名する。
8. 投稿者は、採否決定について不服がある場合、編集委員会に申し立てができる。その際、編集委員会が新たな査読者に査読を依頼し、審査を行った上で最終的に採否を決定する。
9. 採用された論文は、つくばリポジトリで Web 公開される。

哲学・思想専攻構成員一覧(令和3年2月現在)

五十嵐沙千子 井川 義次 伊藤 益 小野 基 木村 武史
近藤 隼人 志田 泰盛 ○千葉 建 津崎 良典 土井 裕人
橋本 康二 ◎檜垣 良成 保呂 篤彦 ○吉水千鶴子

[五十音順：◎編集委員長 ○編集委員]

編集 『哲学・思想論集』編集委員会
発行 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人文社会科学研究所哲学・思想専攻

印刷 佐藤印刷株式会社
令和3年3月21日 印刷
令和3年3月28日 発行
(非売品)

STUDIES IN PHILOSOPHY

No. 46

2020

INSTITUTE OF PHILOSOPHY
UNIVERSITY OF TSUKUBA

CONTENTS

Yoshishige HIGAKI : Was ist die Freiheit des Willens? : Die absolute Spontaneität und die Bestimmung durch die reine Vernunft bei Kant ·····	1
Sachiko IGARASHI : The Criticism of Heidegger's Interpretation of Schelling's Freedom Essay ·····	15
Hiroto DOI : The Development of the Acceptance of Neoplatonism in Japan ·····	35
Naoki KUWABARA : Rereading " <i>After Virtue</i> " ·····	51
Ryushin SUDO : A Japanese Translation of Madhva's <i>Kathālakṣaṇa</i> ·····	69
Ryuta ISHIDA and Noriaki TAKAISHI : A Translation of Pietro Pomponazzi's <i>De immortalitate animae</i> (up to Chapter 4) ·····	97
Takashi OKINAGA : What is the Agent who seeks Eternity? : Transhumanism and Self-transcendence ·····	140
Kouji HASHIMOTO : Term Logic and Euler Diagrams ·····	164
Takeshi KIMURA : Imaginary Representation and Present Technological Situation: Wobbling Ontological Base for a Human Being ·····	186